

ふじもと
藤本 かんじゅ
政策一覧（詳細版）



最高のおおさきへ
～咲き誇る故郷のために～

ごあいさつ



高校2年生の時に東日本大震災を経験しました。大崎市も大きな被害を受け、全国各地から多くの温かいご支援をいただきました。その中で私の心の中に深く刻み込まれたのは、不眠不休で地域の復旧・復興に尽力された地元の先輩方の姿です。地域のために行動する責任と誇りを、あの時学びました。

社会人として経験を積み、新型コロナウイルス感染症という国難を経て、私は「**血税を最大限有効に活用し、自らの経験を活かして地元地域に恩返しをしたい**」との思いを強くするようになりました。

大崎市には、地理的な優位性や豊かな自然環境など、これからさらに発展していくための可能性がたくさんあります。

大崎市は20年に一度のこの大転換期を迎えております。

「大崎市に生まれてよかった」「大崎市にいつか住んでみたい、戻ってきたい」と感じられる「**最高のおおさき**」を、市民の皆さまみなでチカラを合わせて創りあげてまいりましょう。

大崎市は私にとって大切な場所です。藤本 甚助

プロフィール

ふじもと
藤本 かんじゅ

1993年6月17日 大崎市古川北町生まれ
木の実幼稚園、古川第二小学校、古川東中学校、
古川高等学校(男子ソフトボール部)
東北大学農学部(専攻:農業経済学)
株式会社三菱UFJ銀行
2022年4月より大崎市議会議員(1期目)

現役
子育て
世代

銀行員時代 (2017年4月～2021年12月)

- **中野駅前支店**
地元の中堅中小企業の法人営業を担当。
融資業務、運用相談、資産・事業承継などを実施。
- **本店 東京公務部**
独立行政法人や財社団、公共法人の営業を担当。
証券や信託とも連携し、コロナ禍での総合対応を実施。



5つのさいこうで拓く**最高**のおおさきへ

- 再高** まちづくりを通して、郷土愛を高め誇りの持てるおおさきへ
- 再考** 「こどもド真ん中」本気の子育て教育改革を通して、おおさきを考える
- 再興** 「かせぐチカラ」をのばし、財政危機を突破しおおさきの暮らしを豊かに
- 再公** 「対話と現場主義」で、おおさきで暮らす皆さまの命と暮らしを守る
- 再耕** 「新しい可能性」を耕し、おおさきの未来にタネをまく

皆さまとともに取り組みたい11の政策

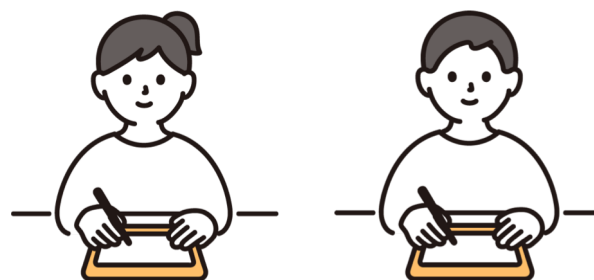
- ① **未来を担うこどもたち**への投資
- ② 大崎地域を「**東北第2の経済圏**」へ
- ③ 未来に向けた**行財政改革**
- ④ みなさまが安心して生活できるまちへ
- ⑤ 誰ひとり取り残さない**防災・安全**
- ⑥ みなさまの健康を守る医療体制
- ⑦ **現場の実態**をふまえた農林業支援
- ⑧ **進捗感のある**観光振興
- ⑨ **大学・研究機関**と連携した技術革新
- ⑩ お金のながれの「**見える化**」
- ⑪ 「**眠る資産**」の利活用

① 未来を担う子どもたちへの投資

- 「子育て全力応援課」を新設し、出産から子育てに関するご相談をワンストップで対応します。
- 日本型教育にICT教育(デジタル技術を活用した教育)と外部人材を組み合わせ、「これからの社会」を生きる子どもたちの教育内容を拡充します。
- 大崎市の資源を活かした体験活動を通じて、家庭や学校以外の多世代の大人とも自然につながることができる安心な居場所を創出します。
- 多様な学び方を前提に、学校へ通いづらい子どもたちも包み込む環境づくりに取り組みます。



母校、古川東中学校の卒業式です



② 大崎地域を「東北第2の経済圏」へ

- 「東北のへそ」といわれる大崎市の地理的優位性を活かし、石巻市と酒田市を結ぶ高規格道路の早期整備実現と、徹底的なトップセールスによる企業誘致活動に取り組みます。
- JR古川駅とその周辺エリアは、皆さまの意見を取り入れながら活性化に向けた協議を推進します。
- 地域金融機関と連携し、起業・スタートアップや承継対策、空き時間での就業を積極的に支援します。
- 10年以内の大崎市内からの上場企業・100億円企業誕生を実現し、地域経済の底上げを図ります。
- デジタル地域通貨を研究し、企業の経費負担を減らし地域内でお金が循環する仕組みを作ります。



世界最大の半導体工場が熊本県に進出



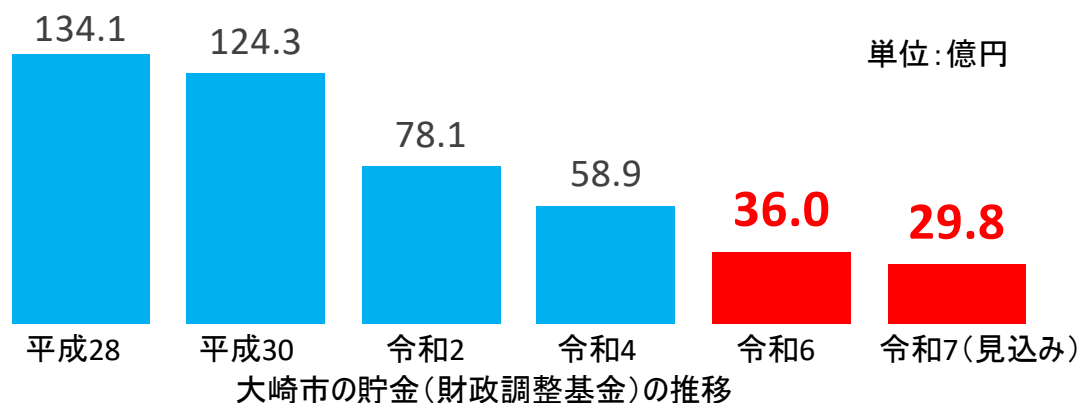
東京まで約1時間45分、仙台まで約15分！



1日9,000人が利用するともいわれるJR古川駅

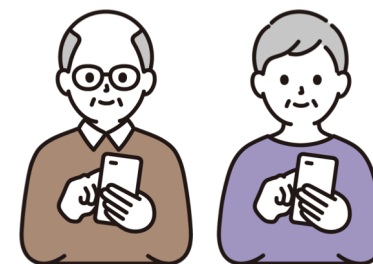
③ 未来に向けた行財政改革

- 頻発化する災害への対応、こどもたちからお年寄りまで多世代が楽しめる拠点づくりなど、未来へ投資する準備を行うため、**今後2年間集中的な行財政改革**に取り組み、大崎市の貯金(財政調整基金)を確保します。
- DX(デジタル技術)とAI(人工知能)の活用、民間活力をさらに導入し、大崎市役所内の定型業務を効率化することで、付加価値の高い行政サービスに注力できる時間を創出し、**市役所職員が前向きに働ける環境**を作ります。



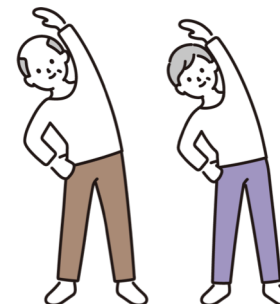
④ みなさまが安心して生活できるまちへ

- 医師会・社会福祉協議会・民間事業者と連携し、**元気なお年寄りを増やし活躍**してもらいます。
- デジタル技術を活用し、どこにお住まいでも**身近に医療の専門家に相談できる体制**を作ります。
- **健康寿命をのばすため**に、運動できる環境を身近にします。
- 現場の実態をふまえ、福祉に携わる方が前向きに生活できる環境を作ります。



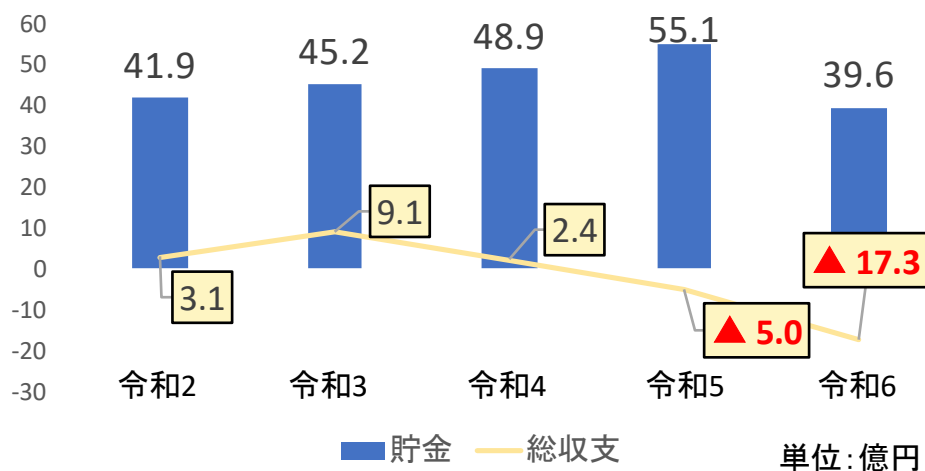
⑤ 誰ひとり取り残さない防災・安全

- デジタル技術を活用し、河川の氾濫など**災害の危険度をリアルタイムに確認できる体制**を整えます。
- スマホから簡単に道路や街灯の不具合を通報できる既存のシステムをさらに活用、普及させることで、市民の皆さまとともに「**24時間安全な大崎**」を実現します。



⑥ みなさまの健康を守る医療体制

- 大崎市民病院と個人病院の役割分担を明確化し、「かかりつけ医」の浸透を促進します。
- 予防医療充実のため、**健康診断の受診率向上**を促します。
- 東北大学病院や宮城県と連携し、**大崎市民病院の適切な人員配置、経営改善**を図ります。



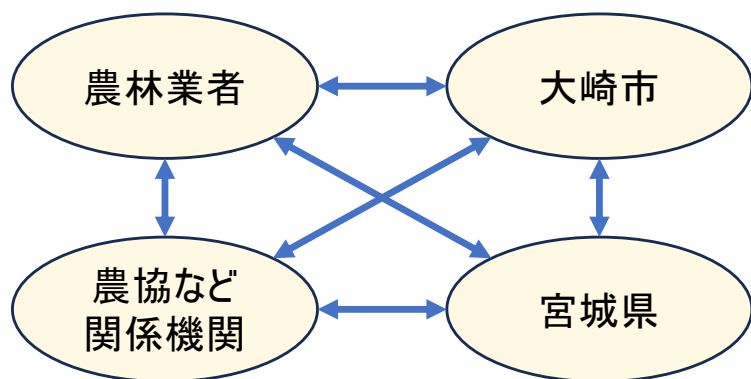
大崎市民病院の貯金と総収支(収益-費用)の推移



大崎市民病院

⑦ 現場の実態をふまえた農林業支援

- 「稼ぎたい」「拡大したい」農林業者を積極的に支援します。
- 大崎市内の各関係機関との連携と情報交換を積極的に行い、市としても
時勢に左右されない安定した販路を開拓することで、農林業者の所得向上を図ります。



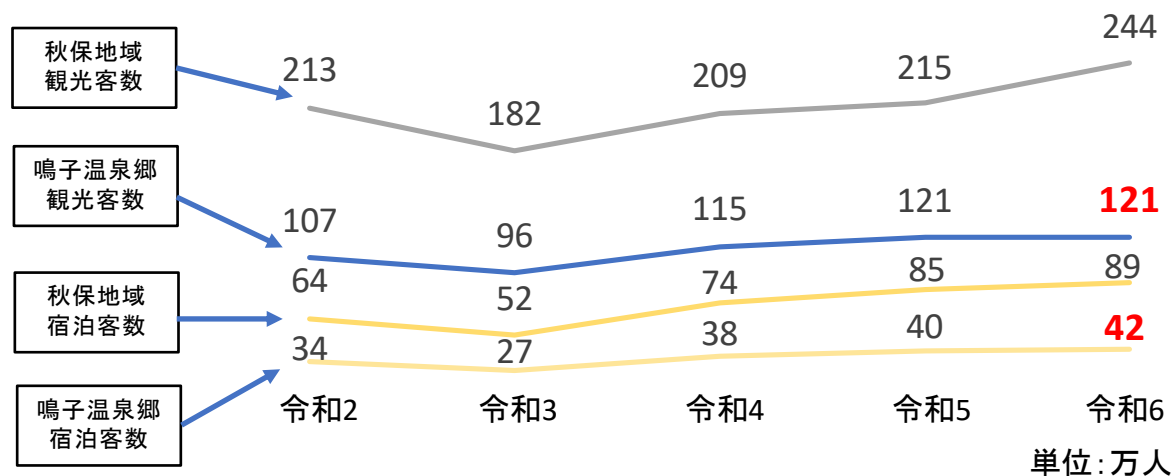
農林業者をめぐる関係者は多種多様です



大崎市の農林業には「かせげる」可能性がたくさんあります！

⑧ 進捗感のある観光振興

- 東京や仙台圏、隣縣市町村、海外からの誘客のために、近隣自治体との連携をさらに強化し、**自治体を跨いだ視点**で観光客の呼び込みを強化します。
- **観光ターゲットを明確**にしたうえで、積極的な大崎市のPRを実施します。
- 実態をふまえつつ、各種予算獲得にむけた**早期のDMO(観光地域づくり法人)認定**を目指します。



鳴子温泉郷と秋保地域の観光客数・宿泊客数の推移



全国から観光客が訪れる紅葉時期の鳴子峡

⑨ 大学・研究機関と連携した技術革新

- 「**国際卓越研究大学**」の認定を受けた東北大学との連携をさらに強化します。

※国際卓越研究大学：世界トップクラスの研究力を目指す大学を文部科学省が認定する制度。

この認定を受けると、国から今後25年間にわたって100億円規模の助成を受ける。

- 市内への**大学の「1学部1キャンパス」の誘致**を目指します。
- 農業、観光、医療、工業をはじめとした分野で、**専門研究機関と連携し技術革新を促進**します。



大崎市から通学・通勤圏内にある東北大学



東北大学大学院農学研究科川渡フィールドセンター

⑩ お金のながれの「見える化」

- 「移動市長室」を定期的開催し、大崎市の課題や現状について説明、発信を行い、市民の皆さまとの対話を政策決定に活かしてまいります。
- 第三セクターや指定管理者、おおさき日本語学校など、大崎市から資金が入る団体は、「投資」と「回収」の視点から運営状況と経済効果を的確に評価・検証します。

⑪ 「眠る資産」の利活用

- 設備投資の計画を見据えながら、基金運用を積極的に実施し大崎市の歳入を拡大します。
- 大崎市で持つ不動産を積極的に利活用し、売却や賃貸収入を拡大します。
- 「世界農業遺産」のブランドを積極的に発信し、市外からのESG投資を呼び込みます。

※ESG投資:「環境(E)」「社会(S)」「統治(G)」を考慮して実施される投資手法